

<上巻>

	ねらい	学習活動	評価規準			
			関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
☆ まほうじん／算数で使いたい考え方 (2時間) p.3~6	○算数への興味・関心を高めるとともに、学習の進め方について理解する。	・3×3ますの魔方陣の活動をとおして、中央の数を共通とするときの縦、横、斜めの数の配置のしかたを、筋道を立てて考える。 ・前学年の学習場面を想起し、問題を解決するときに使ってきた「考え方」を振り返ってまとめる。	・「まほうじん」の問題に関心をもち、解決のしかたを考えたり話し合ったりしようとしている。 【行】【発】	・解決のしかたについて、式に表すなどして筋道立てて考えたり表現したりしている。 【発】【ノ】 支援：問題の意味を具体例を示して捉えられるようにし、初めにどのますから考えればよいか見通しをもたせる。		

	目 標	評価規準			
		関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
1 かけ算のきまり (9時間)	○乗数や被乗数が0の場合の乗法の意味と答えの求め方を理解する。A(3)イ ○九九表の考察をとおして、乗数が1増える(減る)と積は被乗数の大きさだけ増える(減る)ことを理解する。 A(3)ウ ○交換法則、分配法則、結合法則をまとめる。A(3)ウ ○九九表を20まで拡張する方法を考えることができる。 A(3)ア ○何十×何、何百×何の乗法計算のしかたを考えることができる。A(3)ア	・乗法の性質に関心をもち、九九表を調べたり、数の範囲を拡張した計算のしかたを考えたりしようとしている。 【行】【発】	・乗法について成り立つ性質を九九表などから見いだしたり、数の範囲を拡張した計算のしかたを考えたりしている。 【発】【ノ】 支援：九九表を1段ごとに区切って示したり、図などを用いたり、具体的な場面と結びつけたりして考えられるようにする。	・九九を用いて、乗数(被乗数)と積から被乗数(乗数)を求めることができる。また、乗数や被乗数が0の乗法計算や、20×13までの乗法計算、何十×何、何百×何の乗法計算ができる。 【ノ】【テ】	・整数の乗法に関して成り立つ性質の意味や使い方を理解している。 【発】【ノ】【テ】

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
8	7 ~ 19	(0のかけ算)	①0の乗法を理解する。	・点取り遊びの点数を求めることをとおして、3×0や0×5のような、0の乗法の意味を知る。		・乗法の意味や性質をもとに、乗数や被乗数が0の乗法計算のしかたを考えている。		・乗数や被乗数が0の乗法の意味や計算のしかたを理解している。
		(かけ算のきまり)	②乗数と積の関係、交換法則を理解する。	・九九表を見ながら7の段の答えの並び方を調べることをとおして、乗数が1ずつ増減したときの積の変化について調べる。 ・7×6と同じ答えになる九九を探すことをとおして、交換法則についてまとめる。	・乗法の性質に関心をもち、九九表を進んで調べようとしている。	・乗数が1ずつ増減したとき、積が被乗数の大きさずつ増減することなどを見いだしている。		・乗数と積の関係や、乗法の交換法則の意味や使い方を理解している。
			③分配法則を理解する。	・7×6の乗法の答えの求め方をアレイ図を使って考えることをとおして、分配法則についてまとめる。		・アレイ図などを使って、被乗数や乗数を分解した乗法計算のしかたを考えている。		・分配法則の意味や使い方を理解している。
			④積から乗数や被乗数を見つけることができる。(除法の素地)	・6×□=24、□×3=15の□にあてはまる数の求め方を考える。		・九九表(九九唱)を使って、乗数(被乗数)と積から、被乗数(乗数)の求め方を考えている。	・乗数(被乗数)と積から、被乗数(乗数)を求めることができる。	

		(何十, 何百のかけ算) (3つの数のかけ算)	⑤九九表を拡張する方法を考えることができる。 [友だちのノートを見てみよう] ・ノートには計算や答えだけではなく, 気がついたことや大切な考え方なども書いておくとよいことに気づく。	・かけ算のきまりを使って, 九九表を20×13まで広げる。	・九九表を拡張する方法を考えようとしている。	・乗法について成り立つ性質を使って, 被乗数や乗数が10を超えるときの乗法の答えの求め方を考えている。	・乗法について成り立つ性質を使って, 20×13までの乗法の答えを求めることができる。	
			⑦何十×何, 何百×何の乗法計算ができる。	・20×3, 200×3のような, 何十×何, 何百×何の乗法計算のしかたを10や100をもとにして考える。		・何十×何, 何百×何の乗法計算のしかたを, 10や100をもとにして考えている。	・何十×何, 何百×何の乗法計算ができる。	
			⑧結合法則を理解する。	・箱入りのドーナツの代金を求める場面での3口の数のかけ算をとおして, 結合法則についてまとめる。		・乗法2段階の式を, 1つの式に表すことを考えている。		・乗法の結合法則の意味や使い方を理解している。
1	20 ~ 21	まとめ	⑨基本的な学習内容の理解を確認し, 定着を図る。 [九九の表のひみつ] ・九九表の横の列を両端からたしたときのきまりについて考える。	・単元のまとめをする。		・「かけ算のきまり」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・0の乗法計算, 何十×何, 何百×何の乗法計算ができる。 ・乗数(被乗数)と積から被乗数(乗数)を求めることができる。	・整数の乗法に関して成り立つ性質の意味や使い方を理解している。 ・10をもとにした何十×何の計算のしかたを理解している。

<input type="checkbox"/> 学習をふり返ろう① p. 22	○2学年で学習した「たし算とひき算」の復習をする。

		目 標		評 価 規 準				
				関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解	
2	たし算とひき算 (12時間)	○3位数+3位数, 4位数+3・4位数の加法計算のしかたを理解する。A(2)ア ○3位数+3位数, 4位数+3・4位数の加法計算が確実にでき, 適切に用いることができる。A(2)イウ ○3位数-3位数, 4位数-3・4位数の減法計算のしかたを理解する。A(2)ア ○3位数-3位数, 4位数-3・4位数の減法計算が確実にでき, 適切に用いることができる。A(2)イウ ○簡単な加法と減法の暗算ができる。A(2)		・3位数や4位数の加法, 減法の計算のしかたを考えたり, 計算を活用したりすることの楽しさやよさに気づいている。 【行】【発】	・3位数や4位数の加法, 減法の計算のしかたを, 既習の計算をもとに図や式などを用いて考えている。 【発】【ノ】 支援:ほかの簡単な数値で位取り板を用いた説明をして, それをもとに考えられるようにする。	・3位数や4位数の加法, 減法の計算が確実にできる。 【ノ】【テ】 ・2位数どうしの加法と減法の暗算ができる。 【行】【発】	・3位数や4位数の加法, 減法の計算が2位数などについての基本的な計算をもとにしてできると, その筆算のしかたについて理解している。 【発】【ノ】【テ】	
時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
3	23 ~ 26	たし算	①3位数+3位数で百の位に繰り上がりのない加法計算を理解し, 筆算ができる。	・318+225のような3位数+3位数の加法計算のしかたを考え, 筆算のしかたをまとめる。	・3位数の加法計算のしかたを考えようとしている。	・百の位に繰り上がりのない3位数の加法計算のしかたを, 既習の計算をもとに図や式などを用いて考えている。		・百の位に繰り上がりのない3位数の加法計算のしかたを理解している。
			②3位数+3位数の加法計算ができる。	・482+164のような, 百の位へ繰り上がる加法計算のしかたを考える。 ・327+376のような, 十の位への繰り上がり波及的に百の位へ繰り上がる加法計算のしかたを考える。		・百の位へ繰り上がる3位数の加法計算のしかたを考えている。		・百の位へ繰り上がる3位数の加法計算のしかたを理解している。

			③ 3位数+3位数で千の位に繰り上がる加法計算, 4位数+4位数の加法計算ができる。	・823+435のような, 千の位へ繰り上がる加法計算のしかたを考える。 ・3264+4358のような, 4位数+4位数の計算のしかたを考える。		・千の位に繰り上がる3位数の加法計算, 4位数+4位数の加法計算のしかたを考えている。		・千の位に繰り上がる3位数の加法計算, 4位数+4位数の加法計算のしかたを理解している。
7	27 ～ 34	ひき算 (たし算とひき算の暗算) (計算のくふう)	④ 3位数-3位数で百の位から繰り下がりのない減法計算を理解し, 筆算ができる。	・352-214のような3位数-3位数の減法計算のしかたを考え, 筆算のしかたをまとめる。	・3位数の減法計算のしかたを考えようとしている。	・百の位から繰り下がりのない3位数の減法計算のしかたを, 既習の計算をもとに図や式などを用いて考えている。		・百の位から繰り下がりのない3位数の減法計算のしかたを理解している。
			⑤ 3位数-3位数の減法計算ができる。	・637-285や927-789のような, 百の位から繰り下がる減法計算のしかたを考える。		・百の位から繰り下がる3位数の減法計算のしかたを考えている。		・百の位から繰り下がる3位数の減法計算のしかたを理解している。
			⑥ 波及的に繰り下がる減法計算ができる。	・304-128や1000-347のような, 一の位の計算をするときに波及的に繰り下がる減法計算のしかたを考える。		・波及的に繰り下がる減法計算のしかたを考えている。		・波及的に繰り下がる減法計算のしかたを理解している。
			⑦ 4位数-3位数, 4位数-4位数の減法計算ができる。	・1267-534のような千の位から繰り下がる減法計算のしかたを考える。 ・3972-1368のような4位数-4位数の計算のしかたを考える。		・千の位から繰り下がる3位数の減法計算, 4位数-4位数の減法計算のしかたを考えている。		・千の位から繰り下がる3位数の減法計算, 4位数-4位数の減法計算のしかたを理解している。
			⑧ 加法と減法の暗算ができる。	・58+23のような2位数どうしの加法や, 46-17のような2位数どうしの減法の暗算のしかたを考える。		・簡単な加法や減法の暗算のしかたを, 数のしくみをもとに考えている。	・2位数どうしの加法と減法の暗算ができる。	
			⑨ 加法や減法で, 計算しやすい数値に直して計算するしかたを考えることができる。	・298に2をたして300のように計算のしやすい数値に直して加減計算をしてから, 答えを調整する方法について考える。		・加法や減法で計算のしやすい数値に直して計算するしかたを見いだしている。		
			⑩ 3口の加法で順番を変えて工夫して計算する方法を理解する。 [3つの数の筆算] ・359+836+147のような3口の加法も筆算でできることを知る。	・386+67+33のような, 計算の順番を変えるときりのよい数値になる場合に, 加法の結合法則を使って, 工夫して計算することを考える。		・加法の結合法則を使って, 工夫して計算するしかたを考えている。		・加法の結合法則を使って, 工夫して計算することを理解している。
1	35	学んだことを使おう	⑪身のまわりの事象を数理的に捉え, 加法や減法の学習などを活用して問題を解決することができる。	・おこづかい帳の空欄にあてはまる金額を求める式を考えたり, 合計欄の意味について考えたりする。	・計算を活用することの楽しさやよさに気づいている。	・表の空欄にあてはまる数値の求め方などを考えている。		
1	36 ～ 37	まとめ	⑫基本的な学習内容の理解を確認し, 定着を図る。	・単元のまとめをする。		・「たし算とひき算」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・3位数や4位数の加法, 減法の計算が確実にできる。	・3位数の加法, 減法の筆算のしかたを理解している。

		目 標	評 価 規 準			
3	時刻と時間 (5時間)	○簡単な場合について, 時刻や時間を求めることができる。B(3)イ ○時間の単位「秒」について知る。B(3)ア	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
			・日常生活の中で時刻や時間に関心をもち, 進んで活用しようとしている。 【行】【発】	・日常生活の中で必要となる時刻や時間の求め方を考えている。 【発】【ノ】 支援: 模型時計や時間の数直線のプリントを与え, それを用いて考えられるようにする。	・日常生活の中で, 必要となる時刻や時間を求めることができる。 【行】【ノ】【テ】	・時間の単位「秒」について知り, 1分=60秒の関係を理解している。 【発】【ノ】【テ】

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
4	38 ～ 41	(時間の計算)	①ある時刻からある時間経過した時刻を計算で求めることができる。	・8時50分から30分たった時刻のような、ある時刻からある時間経過した時刻の求め方を図を使って考える。	・日常生活の中で時刻や時間に関心をもち、進んで活用しようとしている。	・必要な時刻の求め方を、時計の文字盤や数直線などを使って考えている。	・日常生活の場面で、必要な時刻を求めることができる。	
			②ある時刻よりある時間前の時刻を計算で求めることができる。	・10時20分の45分前の時刻のような、ある時刻よりある時間前の時刻の求め方を図を使って考える。		・必要な時刻の求め方を、時計の文字盤や数直線などを使って考えている。	・日常生活の場面で、必要な時刻を求めることができる。	
			③時間と時間の和や、時刻と時刻の間の時間を計算で求めることができる。	・45分間と30分間をあわせた時間のような、時間と時間の和の求め方を図を使って考える。 ・8時50分と11時20分の間のような、時刻と時刻の間の時間の求め方を図を使って考える。		・必要な時間の求め方を、時計の文字盤や数直線などを使って考えている。	・日常生活の場面で、必要な時間を求めることができる。	
		(短い時間の単位)	④時間の単位「秒」と単位の関係を理解する。	・1分より短い時間を表す単位「秒」を知り、1分=60秒を知る。				・時間の単位「秒」について知り、1分=60秒の関係を理解している。
1	42 ～ 43	まとめ	⑤基本的な学習内容の理解を確認し、定着を図る。 [ストップウォッチで消防訓練] ・消防訓練に関連して、決められた時間と思うところで手を挙げたり、避難の時間をストップウォッチで測ったりする活動をとおして、量感を身につける。	・単元のまとめをする。		・「時刻と時間」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・時間の単位を用いて、時刻や時間を求めることができる。	・時間の単位「秒」について知り、1分=60秒の関係を理解している。

		目 標		評 価 規 準				
時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
4		わり算 (11時間)	○除法が用いられる場合(包含除、等分除)と、除法の式の表し方について理解する。A(4)ア, D(1) ○除法の答えの見つけ方を理解し、九九1回でわりきれる場合の除法計算が確実にできる。A(4)イウ ○何倍かを求めるのに除法を用いることを理解する。A(4)ア ○簡単な場合の2位数÷1位数=2位数の除法計算のしかたを考えることができる。A(4)エ		・除法の意味や計算のしかたを、乗法や減法と関連づけて考えようとしている。 【行】【発】	・除法の意味や計算のしかたを、既習の計算をもとに具体物や図などを用いて考えている。 【発】【ノ】 支援: おはじきなどを用いた具体的な活動から、場面と結びつけて除法の意味や計算のしかたを考えられるようにする。	・除数と商がともに1位数である除法計算が確実にできる。また、簡単な場合の2位数÷1位数=2位数の除法計算ができる。 【ノ】【テ】	・包含除や等分除など、整数の除法の意味や、除法と乗法や減法との関係について理解している。 ・何倍かを求めるのに除法を用いることを理解している。 【発】【ノ】【テ】
2	44 ～ 46	分け方①4こずつ分ける	①除法の意味(包含除)、除法の式について理解する。	・12個のクッキーを4個ずつに分けるしかたを考えることをとおして、除法(包含除)の意味を知る。 ・上記の場面を式で $12 \div 4 = 3$ と表し、「わり算」ということを知る。	・包含除の場面について、乗法や減法との関連や具体物の操作などから捉えようとしている。	・包含除の場面の分け方を、具体物や図などを用いて考えている。		・包含除の場面での式の表し方を理解している。
			②除法(包含除)の答えの求め方を理解する。	・24個のビー玉を6個ずつ配る場面で、包含除の場合の答えの求め方を考える。		・除法計算について、乗法計算などをもとにして考えている。		・除法(包含除)の意味や計算のしかたを理解している。
8	47 ～ 55	分け方②4人で分ける	③除法の意味(等分除)を理解する。	・12個のクッキーを4人で同じ数ずつ分けるしかたを考えることをとおして、除法(等分除)の意味を知る。 ・上記の場面を式で $12 \div 4 = 3$ と表すことを知る。	・等分除の場面について、乗法や減法との関連や具体物の操作などから捉えようとしている。	・等分除の場面の分け方を、具体物や図などを用いて考えている。		・等分除の場面での式の表し方を理解している。

		(2つの分け方)	④ 除法(等分除)の答えの求め方を理解する。	・24個のいちごを6人で同じ数ずつに分ける場面で、等分除の場合の九九を用いた答えの求め方を考える。		・除法計算について、乗法計算などをもとにして考えている。		・除法(等分除)の意味や計算のしかたを理解している。
			⑤ 包含除と等分除を統合的に理解する。	・ $8 \div 2$ の式になる問題を作ることとおして、包含除と等分除の場合の式、答えの求め方を比較する。			・除数と商が1位数の除法計算ができる。	・包含除と等分除が除法としてまとめられることを理解している。
			⑥ 除数の意味(包含除、等分除)について理解を深める。	・ $20 \div 4$ の式になる問題を作り、包含除と等分除を表す図を比較し、答えの求め方を図を用いて説明する。		・包含除と等分除の答えの求め方を、図や式などを用いて考えている。		・除法が用いられる場面の数量の関係を、図と式を結びつけて理解している。
		(0や1のわり算)	⑦ 0や1の除法を理解する。	・6個、3個、0個のドーナツをそれぞれ3人で分けたときの数を求めることとおして、被除数が0や、商が1になる除法の意味を知る。 ・除数が1の除法の意味を知る。				・0をわる場合や1でわる場合の除法の意味と計算のしかたを理解している。
			(倍の計算)	⑧ 何倍かを求めるのに除法を用いることを理解する。	・18cmが6cmの何倍かを求めることとおして、何倍かを求めるのに除法を用いることを知る。		・何倍かを求めるしかたを、図や式などを用いて考えている。	
		(答えが2けたになるわり算)	⑨ 何十 \div 1位数の除法計算ができる。	・ $60 \div 3$ のような、何十 \div 1位数の除法計算のしかたを10をもとにして考える。		・何十 \div 1位数の除法計算のしかたを、10をもとにして考えている。	・何十 \div 1位数の除法計算ができる。	
			⑩ $69 \div 3$ のような、位ごとにわりきれぬ2位数 \div 1位数の除法計算ができる。	・ $69 \div 3$ のような、2位数 \div 1位数 $=$ 2位数の除法計算のしかたを位ごとに分けて考える。		・位ごとにわりきれぬ2位数 \div 1位数の除法計算のしかたを考えている。	・簡単な場合の2位数 \div 1位数 $=$ 2位数の除法計算ができる。	
1	56 ～ 57	まとめ	⑪ 基本的な学習内容の理解を確認し、定着を図る。	・単元のまとめをする。		・「わり算」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・除数と商がともに1位数である除法計算が確実にできる。 ・簡単な場合の2位数 \div 1位数 $=$ 2位数の除法計算ができる。	・包含除や等分除など、整数の除法の意味や、除法と乗法や減法との関係について理解している。 ・何十 \div 1位数の除法計算のしかたを理解している。

		ねらい	学習活動	評価規準			
☆	タイルは何まい (1時間) p. 58	○計算や図形についての感覚を豊かにする。	・規則的に並んだ24枚の正三角形のタイルの枚数の求め方を、見方を変えることによって 8×3 、 4×6 、…など、いろいろな式で考える。	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
				・規則的に並んだタイルの枚数を工夫して数えようとしている。 【行】【発】	・規則的に並んだタイルの枚数を工夫して数えることとおして、図形、数、式の多様な見方を見いだしている。 【発】【ノ】		

		目 標	評価規準					
5	長さ (5時間)	○巻尺の有用性を知り、目的に応じて単位や計器を適切に選んで測定することができる。B(2) ○長さの単位「km」について知る。B(1)ア ○道のりと距離の意味を理解する。B(1)ア	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解		
			・長さについて、およその見当をつけ、目的に応じて単位や計器を適切に選んで測定しようとしている。また、長さの単位「km」に関心をもち、進んで調べようとしている。 【行】【発】	・長さについて、目的に応じて単位を選んだり、計器を選んだりすることを考えている。 【発】【ノ】 支援:巻尺や「km」の単位を用いなかった場合と対比して、よさや必要性を考えられるようにする。	・長さについて、単位や計器を適切に選んで測定することができる。 【行】【ノ】【テ】 支援:巻尺の使い方について確認させようとして、測定の経験を多くさせる。また、日常生活でも「km」の単位を用いる経験をさせる。	・巻尺の目盛りのしくみや測り方、長さの単位「km」と単位の関係について理解している。また、長さの大きさについての豊かな感覚をもっている。 【行】【ノ】【テ】		
時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
3	59 ～ 63	(まきじゃく)	① 巻尺の機能と使い方を理解する。	・幅跳びで跳んだ長さや木の周りの長さなどの測り方を考えることとおして、巻尺のしくみ、巻尺を用いた測定のしかたや有用性を知る。 ・測定の対象によって適切な単位や計器を考え選択する。	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
						・ものさしでは測りにくいところの長さの測り方を考え、巻尺の有用性に気づいている。		・巻尺の目盛りのしくみや測り方を理解している。

		(道のりときょり)	②身のまわりのものの長さを巻尺で測定することができる。	・身のまわりのものの長さを予想してから、巻尺を用いて測る。	・長さについて、およその見当をつけ、目的に応じて単位や計器を適切に選んで測定しようとしている。		・目的に応じて、巻尺を用いて長さを測定し、適切な単位を用いて長さを表すことができる。	・長さの大きさについての豊かな感覚をもっている。
			③道のりと距離の意味、長さの単位「km」と単位の間係を理解する。	・絵地図から長さを求めることをとおして、長さの単位「キロメートル(km)」を知り、1 km=1000mを知る。 ・道のりと距離の意味を知る。			・長さの単位「km」を用いて、道のりや距離を表すことができる。	・道のりと距離の意味、長さの単位「km」を知り、1 km=1000mの関係を理解している。
1	64	学んだことを使おう	④長さの量感をもつ。 [東京から何軒(キロメートル)?] ・昔の里程標(距離を示した標識)に記されたkmの漢字表記「軒」を知ることによって、長さの単位について関心を高める。	・100mや1 kmなどの道のりを、歩数や歩いてかかる時間と結びつけて捉える。	・長さの単位「km」に関心をもち、学校から1 kmの道のりにあたる場所を調べようとしている。			・長さの大きさについての豊かな感覚をもっている。
1	65	まとめ	⑤基本的な学習内容の理解を確認し、定着を図る。	・単元のまとめをする。		・「長さ」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・適切な長さの単位を選ぶことができる。	・長さの単位「km」と単位の間係を理解している。 ・道のりと距離の意味を理解している。

		目 標	評 価 規 準			
			関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
6	表と棒グラフ (9時間)	○棒グラフの用いられる場面を知り、棒グラフに表したりよみ取ったりすることができる。D(3)ア ○資料を2つの観点から分類整理して、簡単な2次元表にまとめたり、表をよみ取ったりすることができる。D(3)	・身のまわりにある事象について、目的に応じて観点を決め、資料を分類整理したり、表やグラフに表したりしようとしている。 【行】【発】【ノ】	・棒グラフをかくときに、グラフ用紙の目盛りの取り方を工夫することを考えている。 ・資料を分類整理するとき、目的に応じた分類の観点を選んだり、落ちや重なりがないことを確認したり、誤りがおきにくいような方法を考えたりしている。 【行】【発】【ノ】 支援:見やすく工夫した棒グラフや表の例を示し、どんな工夫がされているかを考えられるようにする。	・資料を分類整理して棒グラフに表したり、棒グラフをよみ取ったりすることができる。 ・簡単な2次元表をかいたり、表をよみ取ったりすることができる。 【行】【ノ】【テ】 支援:縦軸に数値が入ったグラフ用紙や途中までできている表のプリントを与え、慣れてから自力でかけるように取り組ませる。	・棒グラフのよみ方、かき方や特徴について理解している。 ・簡単な2次元表のよみ方やかき方について理解している。 【発】【ノ】【テ】

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
1	66 ~ 68	整理のしかた	①資料の分類整理のしかたを理解する。	・学校の前の交通量を調べる活動をとおして、落ちや重なりがなく、項目ごとに分類整理するしかたを考える。 ・資料を表に整理するしかたを知る。	・資料を表に表して、特徴を捉えようとしている。	・資料の分類整理にあたって、目的に応じた手際の良い方法や誤りの起きにくい方法を工夫している。		・落ちや重なりがなく項目ごとに分類整理するしかたや、「その他」の意味を理解している。
5	69 ~ 75	棒グラフ	②棒グラフのよみ方を理解する。	・前時の表を棒グラフに表したものを調べ、棒グラフのよみ方を知る。 ・数量の多い順に並べ替えた棒グラフについて考察する。			・棒グラフから資料の特徴などをよみ取ることができる。	・棒グラフのよみ方を理解している。
			③いろいろな棒グラフのよみ方を理解する。(順序性のある場合、横向き、1目盛りの大きさが1でない場合)	・棒グラフでは、順序性があるものは順序どおりに並べることを知る。 ・棒が横になった場合や、1目盛りの大きさが1でない場合のグラフのよみ方を考える。			・棒が横になった場合や、1目盛りの大きさが1でない場合のグラフをよむことができる。	・棒グラフでは、順序性があるものは順序どおりに並べることを理解している。
		(棒グラフのかき方)	④棒グラフのかき方を理解する。	・学校で起こったけが調べの資料を棒グラフに表すことをとおして、棒グラフのかき方を知る。	・資料を棒グラフに表そうとしている。		・資料を棒グラフに表すことができる。	・棒グラフのかき方を理解している。

			⑤⑥いろいろな棒グラフのかき方を理解する。 [棒グラフをくらべて] ・同じグラフを異なる目盛りの付け方で表した2つのグラフを比較し、目的に合った目盛りの付け方について考察する。	・1目盛りの大きさが1でない場合の棒グラフ、横向きの棒グラフのかき方を考える。		・棒グラフをかくときに、グラフ用紙の目盛りの取り方や項目の並び方などを考えている。	・資料を棒グラフに表すことができる。	
1	76 く 77	くふうした表	⑦2次元表のよみ方、かき方を理解する。	・組ごとに調べた好きなスポーツの表を1つの表にまとめることをとおして、2次元表のよみ方、かき方を知る。		・資料の全体の特徴をわかりやすくまとめるしかたを考えている。	・簡単な2次元表をかいたり、表をよんだりすることができる。	・簡単な2次元表のよみ方やかき方、合計欄の意味などを理解している。
1	78	学んだことを使おう	⑧工夫した棒グラフのよみ方、かき方を理解する。	・1組と2組の好きな給食調べの表をもとに、棒を重ねたり、棒を並べたりする工夫をした棒グラフをかいたり、考察したりする。	・身のまわりの事象について、目的に応じて、棒グラフに表そうとしている。	・資料を目的に応じて工夫した棒グラフに表す方法を考えている。		
1	79 く 80	まとめ	⑨基本的な学習内容の理解を確認し、定着を図る。	・単元のまとめをする。		・「表と棒グラフ」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・棒グラフに表したり、棒グラフをよみ取ったりすることができる。	・資料を分類整理し、棒グラフに表すしかたを理解している。

		目 標		評 価 規 準				
7 あまりのあるわり算 (7時間)		○あまりのある除法の意味、計算のしかたを理解する。A(4)ア ○除法と乗法、減法の関係について理解する。A(4)イ ○除数と商が1位数の除法計算が確実にできる。A(4)ウ ○問題場面にあてはめて除法のあまりを処理する問題を解決することができる。A(4)ア		関心・意欲・態度 ・あまりのある除法の意味や計算のしかたを、わりきれる場合の除法や乗法と関連づけて考えようとしている。 【行】【発】	数学的な考え方 ・あまりのある除法の意味や計算のしかたを、既習の計算をもとに図や式などを用いて考えている。 【発】【ノ】 支援:おはじきや図などを用いた活動をさせ、場面と結びつけてあまりのある除法の意味や計算のしかたを考えられるようにする。	技能 ・除数と商が1位数のあまりのある除法計算が確実にできる。 【ノ】【テ】	知識・理解 ・除法のあまりの意味やあまりは除数よりも小さいことなど、あまりのある除法について理解している。また、あまりのある除法の答えの確かめの式を理解している。 【発】【ノ】【テ】	
時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
5	81 く 87	(答えのたしかめ) (あまりはどうする)	①あまりのある除法(包含除)を理解する。	・りんごを5個ずつに分ける場面で、きちんと分けられないときも除法の式で表せることを知る。 ・あまりのある除法の意味を知り、計算のしかたを考える。	・あまりのある除法の意味や計算のしかたを考えようとしている。	・あまりのある除法(包含除)の意味や計算のしかたを、既習の計算をもとに図や式などを用いて考えている。		・あまりのある除法の意味や計算のしかたを理解している。
			②あまりのある除法のあまりの大きさを理解する。(包含除)	・あめを4個ずつ袋に入れる場面で、あまりはいつも除数より小さくなるようにすることを知る。		・いくつもの場合を順序よく調べて、除法のあまりの大きさについて考えている。	・除数と商が1位数のあまりのある除法計算ができる。	・除法のあまりの意味や、あまりは除数より小さいことを理解している。
			③あまりのある除法(等分除)を理解する。	・27個のクッキーを4人で分ける場面(等分除)で、あまりのある除法の意味を知る。		・あまりのある除法(等分除)の意味や計算のしかたを考えている。		・等分除の場面での、あまりのある除法の意味を理解している。
			④あまりのある除法の答えの確かめの式を理解する。	・20個のトマトを3個ずつ袋に入れる場面で、除数、被除数、あまりの関係を考察し、あまりのある除法の答えの確かめの式を知る。		・被除数、除数、商、あまりの関係を考えている。	・あまりのある除法の答えの確かめができる。	・あまりのある除法の答えの確かめの式を理解している。
			⑤除法のあまりの処理について理解する。	・27個のボールを6個ずつ箱に入れるときの箱の数を考える問題で、除法のあまりの処理のしかたを考える。		・具体的な問題場面で、除法のあまりの意味について考え、処理のしかたを考えている。		・具体的な問題場面で、除法のあまりの処理のしかたを理解している。
1	88	学んだことを使おう*	⑥身のまわりの事象を数理的に捉え、あまりのある除法の学習などを活用して問題を解決することができる。	・カレンダーの曜日を除法のあまりを使って調べ、きまりを説明する。		・カレンダーの曜日を除法のあまりを使って判断できる理由を筋道立てて考えている。		

1	89 ? 90	まとめ	⑦基本的な学習内容の理解を確認し、定着を図る。	・単元のまとめをする。		・「あまりのあるわり算」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・除数と商が1位数のあまりのある除法計算が確実にできる。	・あまりのある除法の意味や計算のしかたを理解している。 ・あまりのある除法の答えの確かめの式を理解している。
---	---------------	-----	-------------------------	-------------	--	---------------------------------	------------------------------	---

		ねらい	学習活動	評価規準			
☆ なみ木道 (1時間) p. 91		○木の本数と間の数の関係の問題(植木算)を筋道立てて考え解決することとおして、論理的な思考力を伸ばす。	・木の本数と間の数の関係を図に表すなどして考察し、問題を解決する。	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
					・木の本数と間の数の関係の問題(植木算)について、図に表すなどして筋道立てて考えている。 【発】【ノ】		・図を用いると場面や数量の関係が捉えやすくなることを理解している。 【発】【ノ】

		ねらい	学習活動	評価規準			
☆ はやく見つけられるかな (1時間) p. 92		○除法の除数とあまりの関係や、加減計算についての理解を深める。	・条件に合う計算の効率的な見つけ方を考える。	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
					・条件に合う計算を、除法の除数とあまりの関係や、見積りでの考えを使って工夫して見つける方法を考えている。 【発】【ノ】		・除法の除数とあまりの関係を理解している。また、計算結果の大きさを見積もるなど、数についての豊かな感覚をもっている。 【発】【ノ】

□	学習をふり返ろう② p. 93	○「かけ算のきまり」「たし算とひき算」「時刻と時間」「わり算」「長さ」「表と棒グラフ」の復習をする。						

		目標	評価規準			
8	10000より大きい数 (8時間)	○万の単位について知り、1億までの数について十進位取り記数法による表し方、よみ方、数の構成を理解する。A(1)ア ○1億までの数の大小、順序、系列を理解する。A(1)ア ○数の相対的な大きさについて理解する。A(1)ウ ○10倍、100倍、10でわった大きさの数の表し方を理解する。A(1)イ	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
			・十進位取り記数法の有用さに気づき、1万より大きな数を表そうとしている。 【行】【発】	・十進位取り記数法のしくみをもとに、万の単位の数の表し方を考えたり、10倍、100倍、10でわった大きさの数のしくみを考えたりしている。 【発】【ノ】 支援:4位数までの既習の数の範囲の理解を確認し、数の範囲が広がっても数の表し方のしくみは同じであることを考えられるようにする。	・万の単位を用いて数を表したり、よんだりすることができる。また、1つの数を10倍、100倍、10でわった大きさの数を表すことができる。 【ノ】【テ】 支援:位取り板や数直線のプリントを与え、それを用いて取り組ませる。	・万の単位について理解している。また、1億のよみ方、書き方を理解している。 ・不等号、等号の意味を理解している。 ・10倍、100倍、10でわった大きさの数の表し方について理解している。 【発】【ノ】【テ】

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
7	94 ? 103	万の位	①10万未満の数のよみ方、表し方、5位数の構成と位取りのしくみ(一万の位)を理解する。	・サッカーの試合の入場券の枚数のよみ方を調べることをとおして、5位数の十進位取り記数法によるよみ方、表し方を知る。 ・一万の位について知る。	・十進位取り記数法の有用さに気づき、1万より大きな数を表そうとしている。	・十進位取り記数法のしくみをもとに、一万の位までの数の表し方を考えている。	・一万の位について知り、5位数のよみ方、表し方を理解している。	

		(10倍の数や10でわった数)	② 1億未満の数の構成と位取りのしくみ(十万の位, 百万の位, 千万の位)を理解する。	・全国の学校に関する資料をとおして, 千万の位までの数のよみ方, 表し方, 数の構成を知る。		・千万の位までの数の表し方を考えている。	・千万の位までの数をよんだり書いたりすることができる。	・千万の位までの数の構成と位取りのしくみを理解している。
			③ 「数直線」の用語, 数直線での数の位置, 順序, 系列, 数の相対的な大きさについて理解する。	・「数直線」の用語を知り, 大きな数を数直線に表す。 ・120000が10000や1000のいくつかを考える。		・数の相対的な大きさについて, 10000や1000をもとにしていくつ分かを考えている。		・「数直線」の用語を知り, 数直線での数の位置, 順序, 系列を理解している。 ・数の相対的な大きさを理解している。
			④ 「不等号」「等号」の用語, 1億未満の数の大小について理解する。	・「不等号」「等号」の用語を知る。 ・1億未満の数の大小を不等号, 等号を用いて表す。			・千万の位までの数の大小を比較して, 不等号や等号を用いて表すことができる。	・「不等号」「等号」の用語, 1億未満の数の大小について理解している。
			⑤ 10倍の大きさの数の表し方を理解する。	・20や25を10倍するといくつになるかを考え, 10倍の大きさの数の表し方をまとめる。		・ある数と, その10倍の大きさの数との関係を調べ, 数字の並び方は変わらないことを見いだしている。	・ある数を10倍した大きさの数を表すことができる。	・ある数を10倍した大きさの数の表し方を理解している。
			⑥ 100倍や, 10でわった大きさの数の表し方を理解する。	・25を10倍した数を更に10倍するといくつになるかを考え, 100倍の大きさの数の表し方をまとめる。 ・200を10でわるといくつになるかを考え, 10でわった大きさの数の表し方をまとめる。		・ある数と, その100倍や10でわった大きさの数との関係を調べ, 数字の並び方は変わらないことを見いだしている。	・ある数を100倍, 10でわった大きさの数を表すことができる。	・ある数を100倍, 10でわった大きさの数の表し方を理解している。
		(一億)	⑦ 1億について理解する。	・数直線の目盛りが表す数を調べることとおして, 1億の大きさや, よみ方, 書き方を知る。				・1億のよみ方, 書き方を理解している。
1	104 } 105	まとめ	⑧ 基本的な学習内容の理解を確認し, 定着を図る。 [万は大きい? 小さい?] ・身のまわりで使われている万の位の数を見つけて, 量感をもつ。	・単元のまとめをする。		・「10000より大きい数」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・万の単位を用いて数を表したり, よんだりすることができる。 ・ある数を10倍, 10でわった大きさの数を表すことができる。	・万の単位について理解している。 ・不等号, 等号の意味を理解している。 ・1億のよみ方, 書き方を理解している。

		目 標		評 価 規 準				
9 円と球 (9時間)		○円, 円の中心, 半径, 直径について理解する。C(1)ウ ○コンパスを用いて円をかいたり, 長さを写し取ったりすることができる。C(1)ウ ○球, 球の中心, 半径, 直径, 切り口の形について理解する。C(1)ウ		関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解	
				・身のまわりから円や球を見つけようとしている。また, コンパスを用いた円の模様作りの活動を楽しみ, 円のもつ美しさに気づいている。 【行】【発】	・円周上のどの点も中心から等距離にあることや, 円の半径や直径は無数にあることなど, 円の意味や性質を見いだしている。 【発】【ノ】 支援:実際に中心から等距離の点をいくつもかいたり, 半径や直径をいくつもかいたりする活動をとおして考えられるようにする。	・コンパスを用いて円をかいたり, 等しい長さを測り取ったり, 長さを写したりすることができる。 【行】【ノ】【テ】 支援:円の模様作りの活動を取り入れるなど, 楽しみながら繰り返し練習できるようにする。	・円や球について理解している。また, 円や球の中心, 半径, 直径について理解している。 【発】【ノ】【テ】	
時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
6	106 } 113	円	①② 円の意味, 性質, 円の中心, 半径を理解する。	・公平に輪投げができる並び方を考える活動をとおして, 円や, 円の中心, 半径を知る。	・円に関心をもち, 身のまわりから円を見つけようとしている。	・公平に輪投げができる並び方を考えて図に表し, 中心から等距離にある点の集まりになることを見いだしている。		・円の意味, 性質, 円の中心, 半径を理解している。
			③ 円の直径を理解する。	・円の中心を見つける活動をとおして, 円の直径を知る。		・円の中心の見つけ方を考え, 円の直径と半径の関係を見いだしている。		・円の直径を知り, 1つの円では直径の長さは半径の長さの2倍であることを理解している。
			④ 直径の性質を理解する。	・円の中にかかれた直線の長さを比べることとおして, 直径が円の中でいちばん長い直線となることを知る。		・直径の性質をもとに, 正方形や長方形に内接する円の大きさを考えている。		・直径が円の中でいちばん長い直線となることを理解している。
			⑤ コンパスの使い方を理解し, 円の作図ができる。	・コンパスを用いた円のかき方を知り, コンパスを用いて模様をかく。	・コンパスを用いた円の模様作りの活動を楽しみ, 円のもつ美しさに気づいている。		・コンパスを用いて円をかくことができる。	・コンパスの使い方を理解している。

			⑥コンパスの機能を理解する。	・線の長さを比べることをとおして、コンパスには長さを写し取る機能があることを知る。			・コンパスを用いて長さを写し取ることができる。	・コンパスには長さを写し取る機能があることを理解している。
1	114 } 115	球	⑦球の意味、性質、球の中心、半径、直径を理解する。	・ボールなどのさまざまな球の特徴を調べ、球について知る。 ・球の中心、半径、直径を知り、球の直径の測り方を考える。	・球に関心を持ち、特徴を調べようとしている。	・球を観察する活動をおとして、球の特徴を考えている。		・球の意味、性質、球の中心、半径、直径を理解している。
1	116 } 117	学んだことを使おう	⑧実生活の場でコンパスを活用し、その機能について理解を深め、有用性に気づく。	・コンパスを使って、地図上のある地点から1kmのところや、ある地点間のおよその距離を調べる。	・実生活の場でコンパスを活用することに関心を持ち、その有用性に気づいている。		コンパスを使って、地図上のある地点から1kmのところや、ある地点間のおよその距離を調べることができる。	
1	118 } 119	まとめ	⑨基本的な学習内容の理解を確認し、定着を図る。 [円さがし、球さがし] ・身のまわりから円や球の形のものを探す。	・単元のまとめをする。		・「円と球」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・コンパスを用いて円をかいたり、等しい長さを測り取ったり、長さを写したりすることができる。	・円や球について理解している。また、円や球の中心、半径、直径について理解している。

		目 標		評 価 規 準				
○ かけ算とわり算の図 (2時間)		○乗法と除法の相互関係を図や式に表すことができる。 D(2)ア		関心・意欲・態度 ・テープ図や数直線を用いると、乗法や除法の問題の構造が捉えやすくなるよさに気づいている。 【行】【発】	数学的な考え方 ・乗法、除法の問題場面について、式の根拠を数直線を用いて説明している。 【発】【ノ】	技能 ・乗法、除法の問題場面を数直線に表すことができる。 【ノ】 支援：問題場面と図、式を対応させながら、順序よく表せるようにする。	知識・理解 ・乗法と除法の相互関係をもとに、乗法、除法の数直線の見方やかき方を理解している。 【発】【ノ】	
時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
2	120 } 123		①乗法や除法の数直線の見方を理解する。	・15個のいちごを1人に5個ずつ3人に配る場面で、テープ図と式を関連づけて捉え、乗法と除法の数直線の見方を知る。 ・10円のあめを4個買うときの代金を求める式が10×4になる理由を、数直線を用いて説明する。	・テープ図や数直線を用いると、乗法や除法の問題の構造が捉えやすくなるよさに気づいている。	・乗法と除法の相互関係について、テープ図や式をもとに考えている。		・乗法と除法の相互関係をもとに、数直線の見方を理解している。
			②乗法や除法の数直線のかき方や、図と式を関連づけて説明するしかたを理解する。	・品物の代金を求める場面やあめや折り紙を等分する場面をおとして、乗法や除法の数直線のかき方を知り、数直線を用いて立式の根拠を説明する。		・乗法、除法の問題場面について、式の根拠を数直線を用いて説明している。	・乗法、除法の問題場面を数直線に表すことができる。	・乗法、除法の数直線のかき方を理解している。

<下巻>

		目 標		評 価 規 準			
10 かけ算の筆算(1) (11時間)		○2・3位数×1位数の乗法計算のしかたを、九九などの基本的な計算をもとに理解し、乗法の筆算のしかたについて知る。A(3)ア ○2・3位数×1位数の乗法計算が確実にできる。A(3)イ ○簡単な乗法の暗算ができる。A(3)		関心・意欲・態度 ・2位数や3位数に1位数をかける乗法計算について、既習の基本的な計算をもとにしてできるというよさに気づいている。 【行】【発】	数学的な考え方 ・2位数や3位数に1位数をかける乗法計算のしかたを、既習の計算をもとに図や式などを用いて考えている。 【発】【ノ】 支援：1, 10, 100の数カードなどを用いて位ごとの計算の意味を考えられるようにする。	技能 ・2位数や3位数に1位数をかける乗法計算が確実にできる。 【ノ】【テ】 ・簡単な乗法について、暗算で答えを求めることができる。 【行】【発】	知識・理解 ・2位数や3位数に1位数をかける乗法の筆算のしかたについて理解している。 【発】【ノ】【テ】

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準				
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解	
10	2 ～ 13	(2けた×1けたの計算)	①② 2位数×1位数の乗法計算を理解し、筆算ができる。	・20×3の計算を振り返り、式の根拠や計算のしかたを説明する。 ・23×3のような、2位数×1位数＝2位数で繰り上がりのない乗法計算のしかたを考える。 ・乗法の筆算形式を知る。	・2位数に1位数をかける乗法計算について、既習の基本的な計算をもとにしてできるというよさに気づいている。	・2位数×1位数＝2位数で繰り上がりのない乗法計算のしかたを、既習の計算をもとに図や式などを用いて考えている。		・2位数×1位数＝2位数で繰り上がりのない乗法計算のしかたや乗法の筆算形式を理解している。	
			③ 2位数×1位数で十の位に繰り上がる乗法計算を理解し、筆算ができる。	・26×3のような、2位数×1位数＝2位数で十の位へ繰り上がりのある乗法計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。		・2位数×1位数＝2位数で十の位へ繰り上がりのある乗法計算のしかたを考えている。		・2位数×1位数＝2位数で十の位へ繰り上がりのある乗法計算のしかたを理解している。	
			④ 2位数×1位数で百の位に繰り上がる乗法計算ができる。	・42×3のような、2位数×1位数＝3位数の乗法計算のしかたを考える。 ・65×3や、49×7のような、2位数×1位数＝3位数で十の位へ繰り上がりのある乗法計算のしかたを考える。		・2位数×1位数＝3位数の乗法計算のしかたを考えている。		・2位数×1位数＝3位数の乗法計算のしかたを理解している。	
			⑤ 2位数×1位数で途中の計算に0が出てくる乗法計算ができる。	・63×8や 47×5のような、2位数×1位数＝3位数で途中の計算に0が出てくる乗法計算のしかたを考える。		・2位数×1位数＝3位数で途中の計算に0が出てくる乗法計算のしかたを考えている。		・2位数×1位数＝3位数で途中の計算に0が出てくる乗法計算のしかたを理解している。	
			[見つもり] ・計算の答えの見当をつけることを「見積もり」ということを知る。						
		(3けた×1けたの計算)	⑥ 3位数×1位数の乗法計算を理解し、筆算ができる。	・312×3のような、3位数×1位数＝3位数で繰り上がりのない乗法計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。	・3位数に1位数をかける乗法計算について、既習の基本的な計算をもとにしてできるというよさに気づいている。	・3位数×1位数＝3位数で繰り上がりのない乗法計算のしかたを考えている。		・3位数×1位数＝3位数で繰り上がりのない乗法計算のしかたを理解している。	
			⑦ 3位数×1位数で繰り上がりのある乗法計算ができる。	・253×3のような、3位数×1位数＝3位数で繰り上がりのある乗法計算のしかたを考える。		・3位数×1位数＝3位数で繰り上がりのある乗法計算のしかたを考えている。		・3位数×1位数＝3位数で繰り上がりのある乗法計算のしかたを理解している。	
			⑧ 3位数×1位数で千の位に繰り上がる乗法計算、3位数×1位数＝4位数で空位がある乗法計算ができる。	・423×3のような、3位数×1位数＝4位数の乗法計算のしかたを考える。 ・302×8のような、3位数×1位数＝4位数で空位がある乗法計算のしかたを考える。		・3位数×1位数＝4位数の乗法計算のしかたを考えている。		・3位数×1位数＝4位数の乗法計算のしかたを理解している。	
			(倍の計算)	⑨ 倍にかかわる問題についてテープ図などを用いて数量の関係を捉え、乗法や除法を適用して解決し、倍概念の理解を深める。	・図をもとに5cmのテープの3倍の長さを求め、更にその2倍の長さを求めたり、求めた長さがもとのテープの何倍になるかを求めたりする。		・倍にかかわる問題場面の数量関係についてテープ図などを用いて考えている。		・ある数量をもとにして、それを何倍かした大きさを求めるには、乗法を使うことを理解している。
			(かけ算の暗算)	⑩ 乗法の暗算ができる。	・23×4のような、2位数×1位数の暗算のしかたを考える。		・簡単な乗法の暗算のしかたを、乗法の計算のしくみをもとに考えている。	・2位数×1位数の乗法の暗算ができる。	
1	14 ～ 15	まとめ	⑪ 基本的な学習内容の理解を確認し、定着を図る。 [かくれた数字] ・2位数×1位数、3位数×1位数の虫食い算に取り組む。	・単元のまとめをする。		・「かけ算の筆算(1)」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・2位数や3位数に1位数をかける乗法計算が確実にできる。	・1位数をかける乗法の筆算のしかたを理解している。	

		ねらい	学習活動	評価規準			
				関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
☆ カレンダーを調べよう (1時間) p. 16		○規則的に並んだ数のきまりを筋道立てて考え解決することをとおして、論理的な思考力を伸ばす。	・カレンダーで3つ並んだ数の和を考察して、きまりを発見する。	・規則的に並んだ数を考察して、さまざまなきまりを見いだそうとしている。 【行】【発】【ノ】	・規則的に並んだ数のきまりを筋道立てて考えている。 【発】【ノ】		

		目 標	評価規準			
			関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
11 重さ (9時間)		○重さの意味や、単位と測定の意味について理解する。 B(1) ○重さの単位「g, kg, t」について知る。B(1)イ ○はかりを用いて、重さを測定することができる。B(2)	・身のまわりにあるものの重さに関心を持ち、重さを数値化して比べようとしている。また、およその見当をつけ、目的に応じて単位や計器を適切に選んで測定しようとしている。 【行】【発】	・重さについて、普遍単位の必要性に気づき、重さの表し方を考えている。 【発】【ノ】 支援:長さやかさの測定や単位について思い出させる。 ・重さ、長さ、かさについて、1kgは1000g, 1kmは1000m, 1Lは1000mLという関係をもとに、単位の大きさについて考えている。 【発】【ノ】	・重さについて、単位や計器を適切に選んで測定することができる。 【行】【ノ】【テ】	・重さの単位「g, kg, t」と測定の意味、単位の関係について理解している。また、重さについて、およその見当をつけ、測定に用いる単位や計器を適切に選択するなど、重さについての豊かな感覚をもっている。 【行】【ノ】【テ】 支援:はかりの使い方について確認させようとして、測定の経験を豊富にさせ、重さについての感覚を豊かにさせる。

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
6	17 ～ 24	重さくらべ (はかり)	①②重さの意味、重さの比べ方、重さの単位「g」を理解する。	・身のまわりのものの重さを比べる活動をおして、重さの比較・測定のしかたや意味について考える。 ・重さの単位「グラム(g)」を知る。	・身のまわりにあるさまざまなものの重さに関心を持ち、重さを比べようとしている。	・重さの比較や測定について、長さやかさの場合をもとにして考えている。		・重さの意味、重さの比べ方、重さの単位「g」を理解している。
			③はかりの機能と使い方を理解する。	・はかりを用いた測定のしかたや、目盛りのよみ方について知る。			・はかりを用いて重さを測定することができる。	・はかりの目盛りのしくみや使い方を理解している。
			④重さの単位「kg」と単位の関係を理解する。	・ランドセルの重さを量ることをとおして、重さの単位「キログラム(kg)」を知り、1kg=1000gを知る。				・重さの単位「kg」を知り、1kg=1000gの関係を理解している。
		(はかり方のくふう)	⑤身のまわりのものの重さを測定することができる。	・ものの重さに合ったはかりを選択して、身のまわりのいろいろなものの重さを量る。	・身のまわりにあるさまざまなものの重さに関心を持ち、適切なはかりを選択して測定しようとしている。		・重さの見当をつけ、単位やはかりを適切に選択して測定することができる。	・身のまわりのものの重さのおよその見当をつけるなど、重さの大きさについての豊かな感覚をもっている。
⑥重さについても加法性が成り立つことを理解する。 [1kgをつくろう] ・砂や本を使って1kgを体感し、量についての感覚を養う。	・かごに乗せたボールの重さの求め方を考えることをとおして、重さは加減計算ができることを知る。			・重さを量りたいものが直接はかりにのせにくい場合に、入れ物に入れて量る工夫を考えている。		・重さも加減計算できることを理解している。		
1	25 ～ 26	単位のしくみ	⑦重さ、長さ、かさの単位に共通する関係に着目し、単位についての理解を深める。 重さの単位「トン(t)」を理解する。 [1000倍の大きさ]* ・1kmは1mの1000倍の長さであることを知る。 [いろいろな単位] ・かさの単位「kL」、重さの単位「mg」を知る。	・今まで学習してきた、重さ、長さ、かさの単位について表に整理し、共通性に気づき、「k(キロ)」「m(ミリ)」などの接頭語の意味について考える。 ・重さの単位「トン(t)」を知り、1t=1000kgを知る。	・既習の単位のしくみに興味を持ち、それぞれを関連づけようとしている。	・重さ、長さ、かさの単位の共通性に気づき、「k(キロ)」「m(ミリ)」などの接頭語の意味を見いだしている。		・重さの単位「t」を知り、1t=1000kgの関係を理解している。

1	27	学んだことを使おう	⑧身のまわりの事象を数理的に捉え、重さについての学習などを活用して問題を解決することができる。	・郵便料金の表をよみ取って、重さの計算を適用して問題を解決する。	・生活で用いられる重さに関心を持ち、重さの学習のよさに気づいている。	・郵便料金の表をよみ取り、重さの学習を活用して問題を解決するしかたを考えている。		
1	28 ～ 29	まとめ	⑨基本的な学習内容の理解を確認し、定着を図る。 [重さはかわるかな] ・体重計を使って、重さの保存性を実感的に理解する。	・単元のまとめをする。		・「重さ」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・適切な単位を用いて、重さを表すことができる。 ・簡単な重さの計算ができる。	・重さの単位「g, kg」と単位の関係、はかりの目盛りのしくみや使い方を理解している。 ・1 kmは1 mの1000個分、1 kgは1 gの1000個分という関係を理解している。

<input type="checkbox"/> 学習をふり返ろう③ p. 30		○「あまりのあるわり算」「10000より大きい数」「円と球」「かけ算の筆算(1)」の復習をする。
---	--	--

		目 標		評 価 規 準				
12 分数 (10 時間)		○等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表す数としての分数を理解し、表し方を知る。A(6)ア ○分数は単位分数のいくつ分で表せることを知り、数直線に表すなどして分数の大きさについて理解する。A(6)イ ○同分母分数どうしの簡単な加法、減法の計算のしかたを考え、計算することができる。A(6)ウ	関心・意欲・態度 ・分数を用いると整数で表せない等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すことができるなどのよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとしている。 【行】【発】	数学的な考え方 ・単位分数のいくつ分かで数量を表すことを考えている。また、分数の加法、減法の計算のしかたを、分数の意味をもとに図や式などを用いて考えている。 【発】【ノ】 支援:分数の意味の理解を確認し、図などを与えて、それを用いて考えられるようにする。	技能 ・分数を用いて数量を表すことができる。また、同分母の真分数の加法、減法の計算ができる。 【ノ】【テ】	知識・理解 ・分数が用いられる場合や分数の表し方について知り、分数の意味について理解している。また、分数の加法および減法の意味について理解している。 【発】【ノ】【テ】 支援:分母、分子の数が何を表しているのかの意味を確認させる。		
時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
5	31 ～ 37	分数の表し方	①分数の意味と表し方を理解する。	・1 mを4等分した1つ分を1/4mということを知る。	・既習事項を振り返り、等分してできる部分の大きさの表し方を考えようとしている。	・1 mを4等分した大きさの表し方を考えている。		・測定したときの量の大きさを表す分数の意味と表し方を理解している。
			②分数の意味と表し方、「分母」「分子」の用語を理解する。	・1 mを3等分した2つ分の長さを2/3mということを知り、分数の構成を知る。 ・分母、分子の意味を知る。		・単位分数のいくつ分として表す分数について、図に表すなどして考えている。	・長さを分数を用いて表すことができる。	・分数の意味と表し方、「分母」「分子」の用語を理解している。
			③かさを分数で表すことをとおして、分数の意味と表し方についての理解を深める。	・1 Lを5等分した3つ分のかさを3/5Lということを知る。			・水のかさを分数を用いて表すことができる。	・分数の構成と表し方を理解している。
			④単位分数をもとにした分数の大きさを理解する。	・1/5, 2/5, …を数直線上に表す。 ・分母と分子が同じ数のときは1になることを知る。				・単位分数をもとにした分数の表し方を理解している。また、分母と分子が同じ数のときは1になることを理解している。
			⑤同分母分数の大小について理解する。また、1より大きい分数があることを理解する。	・7/10と8/10のような同分母分数の大小比較のしかたを考える。 ・1/10の11個分、12個分の大きさを11/10, 12/10ということを知る。		・単位分数のいくつ分として表す分数のしくみを数直線に表すなどして考えている。		・同分母分数の大小を理解している。また、1より大きい分数があることを理解している。
3	38 ～ 40	分数のたし算、ひき算	⑥⑦簡単な分数の加法計算を理解する。	・和が1までの同分母の真分数どうしの加法計算のしかたを考える。 ・7/10+3/10=10/10のような、和が1になる加法計算のしかたを考える。		・分数の加法計算のしかたを、分数の意味をもとに図や式などを用いて考えている。	・和が1までの同分母の真分数どうしの加法計算のしかたを理解している。	

			⑧簡単な分数の減法計算を理解する。	・同分母の真分数どうしの減法計算のしかたを考える。 ・ $1 - 3/10 = 7/10$ のような、1から真分数をひく減法計算のしかたを考える。		・分数の減法計算のしかたを、分数の意味をもとに図や式などを用いて考えている。		・同分母の真分数どうしの減法計算のしかたを理解している。
1	41	学んだことを使おう	⑨等幅の罫線を使って長さを等分する方法を考え、分数についての理解を深める。 [分数ものさしのめもり]* ・分数ものさしを順に並べることによって、分数の分母が大きくなると1つ分の大きさが小さくなることに気づく。	・同じ幅に並んだ線を使って1mの長さのテープに分数の目盛りをつける方法を考える。	・分数を用いるよさに気づき、分数を活用しようとしている。	・同じ幅に並んだ線を使って1mの長さのテープに分数の目盛りをつけるしかたを考えている。		・分数の構成や分数の大きさなどについての豊かな感覚をもっている。
1	42 ～ 43	まとめ	⑩基本的な学習内容の理解を確認し、定着を図る。 [2/3を見つけよう]* ・正方形に色を塗ったものの中から2/3に色が塗られているものを見つける。	・単元のまとめをする。		・「分数」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・分数を用いて数量を表すことができる。また、同分母の真分数の加減計算ができる。	・分数の意味と表し方、「分母」「分子」の用語を理解している。 ・同分母分数の大小を理解している。 ・同分母の真分数どうしの加法計算のしかたを理解している。

		目 標			評 価 規 準			
13 三角形 (9時間)		○いろいろな三角形を構成したり弁別したりする活動をとおして、二等辺三角形、正三角形について理解する。C(1)ア ○二等辺三角形、正三角形をコンパスなどを用いてかくことができる。C(1)ア ○三角形と関連して角について知り、二等辺三角形、正三角形の角の大きさについて理解する。C(1)イ			関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
					・身のまわりから、二等辺三角形や正三角形を見つけたり、作図したり、構成したりしようとしている。また、二等辺三角形、正三角形で平面を敷き詰める活動を楽しみ、模様の美しさや平面の広がりについて気づいている。 【行】【発】【ノ】	・三角形について、辺の長さの相等関係に着目して分類し、分類した三角形の特徴を見いだしている。 【発】【ノ】 支援:辺の長さの相等関係に着目する観点を具体的に示し、それをもとに弁別を考えられるようにする。	・定規とコンパスを用いて、二等辺三角形や正三角形を作図することができる。 【行】【ノ】【テ】 支援:コンパスを用いた作図のしかたについて確認したうえで、手順を丁寧にたどらせる。	・二等辺三角形や正三角形の意味や性質、角について理解し、三角形についての豊かな感覚をもっている。 【発】【ノ】【テ】
時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
5	44 ～ 51	いろいろな三角形 (二等辺三角形、正三角形のかき方)	①②二等辺三角形、正三角形の意味を理解する。 [二等辺三角形、正三角形さがし] ・身のまわりから二等辺三角形や正三角形のものを探す。	・4種類の長さのストローを用いていろいろな三角形を作り、辺の長さに着目して分類する。 ・二等辺三角形、正三角形について知る。 ・三角形の3辺の長さをコンパスを用いて調べ、正三角形であることを確かめる。	・身のまわりから、二等辺三角形や正三角形を見つけようとしている。	・三角形について、辺の長さの相等関係に着目して分類し、分類した三角形の特徴を見いだしている。		・二等辺三角形、正三角形の意味を理解している。
			③④二等辺三角形の作図、正三角形の作図のしかたを理解する。	・ドットの図で、あと1点をどこにとると二等辺三角形になるかを考え、二等辺三角形の作図の素地となる経験をする。 ・定規とコンパスを用いた二等辺三角形の作図のしかたを考える。 ・二等辺三角形の作図のしかたをもとに、正三角形の作図のしかたを考える。	・二等辺三角形や正三角形を進んで作図しようとしている。	・ドットの図を使った二等辺三角形作りをとおして、二等辺三角形の特徴を見いだしている。 ・二等辺三角形や正三角形の作図のしかたを、定義などをもとに考えている。	・定規とコンパスを用いて、二等辺三角形、正三角形を作図することができる。	
		(三角形づくり)	⑤二等辺三角形、正三角形の辺の相等関係について理解を深める。	・円の半径を使って三角形を作図したり、折り紙を用いて二等辺三角形と正三角形を作ったりする活動に取り組み、なぜ二等辺三角形や正三角形ができるのか説明する。		・円の半径や折り紙を使って作った三角形について、二等辺三角形や正三角形の定義をもとに説明している。		・二等辺三角形や正三角形を、円の半径や折り紙を使って作るなどの活動をとおして、対称性に気づくなど、図形についての豊かな感覚をもっている。

3	52 ∩ 55	角 (三角形のしきつめ)	⑥図形の角の意味, 性質について理解する。	・三角定規のかどの大きさを比べることをとおして, 角の意味, 角の大きさについて知る。				・角の意味, 角の大きさについて理解している。
			⑦二等辺三角形, 正三角形の角の相等関係について理解する。	・角を重ね合わせて比べることをとおして, 二等辺三角形は2つの角の大きさが等しく, 正三角形は3つの角の大きさが等しくなっていることを知る。				・二等辺三角形では2つの角の大きさが等しく, 正三角形では3つの角の大きさが等しいことを理解している。
			⑧二等辺三角形, 正三角形による敷き詰め模様 of 構成, 観察をとおして, 図形についての感覚を豊かにする。 [円を使ってもようをかこう] ・円を使って敷き詰め模様をかくことをとおして, 円の学習と結びつけて三角形についての理解を深める。	・二等辺三角形や正三角形を敷き詰めた模様を作って, 平面の広がりや, 図形の美しさなどに気づく。	・二等辺三角形や正三角形に規則的に色を塗って模様を作る活動をとおして, できる模様の美しさや平面の広がりについて知る。			・二等辺三角形や正三角形を何個かずつ組み合わせて色を塗って, 模様を作るなど, 図形についての豊かな感覚をもっている。
1	56 ∩ 57	まとめ	⑨基本的な学習内容の理解を確認し, 定着を図る。	・単元のまとめをする。		・「三角形」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・定規とコンパスを用いて, 二等辺三角形や正三角形を作図することができる。 ・二等辺三角形や正三角形の定義をもとに, 辺の長さを求めることができる。	・二等辺三角形や正三角形の意味や性質を理解している。 ・角の意味, 角の大きさについて理解している。

		ねらい	学習活動	評価規準			
				関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
☆	ピクニックで算数 (1時間) p. 58~59	○加減乗除の作問をすることができる。	・ピクニックの場面をもとに, 加減乗除の問題作りをする。	・生活の中の算数が用いられる場面に気づき, 問題作りをしようとしている。 【行】【発】【ノ】	・場面絵から, これまでの学習内容に関連した問題を考えている。 【発】【ノ】	・場面絵から算数の問題を作り, その問題を解決することができる。 【ノ】	

□	学習をふり返ろう④ p. 60	○「重さ」「分数」「三角形」の復習をする。					
---	------------------------	-----------------------	--	--	--	--	--

		目 標	評価規準			
			関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
14	小数 (11時間)	○端数部分の大きさを表す数としての小数について理解し, 1/10の位までの小数の表し方を知る。A(5)ア ○小数が整数と同じしくみで表されていることを知り, 数の相対的な大きさについて理解する。A(5)ア ○小数の加法, 減法の計算のしかたを考え, 計算することができる。A(5)イ	・小数を用いると整数で表せない端数部分の大きさを表すことができるなどのよさに気づき, 進んで生活や学習に活用しようとしている。また, 1/10の位までの小数の加法, 減法の計算のしかたを考えようとしている。 【行】【発】	・端数部分の大きさを0.1のいくつ分として表す小数のしくみを, 十進位取り記数法の考えをもとに考えている。また, 1/10の位までの小数の加法, 減法の計算のしかたを, 既習の計算をもとに図や式などを用いて考えている。 【発】【ノ】 支援:位取り板などを用いて, 整数と同様に考えることができるようにする。	・端数部分の大きさを小数を用いて表すことができる。また, 1/10の位までの小数の加法, 減法の計算ができる。 【ノ】【テ】	・小数が用いられる場合や小数の表し方, 1/10の位について知り, 小数の意味について理解している。また, 1/10の位までの小数の加法および減法について理解している。 【発】【ノ】【テ】

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
5	61 ～ 67	小数の表し方	①小数の意味と表し方, 「小数」「整数」の用語を理解する。	・ 1L に満たない端数部分の水の量をL 単位で表すことをとおして, 1L の 1/10 の大きさを 0.1L ということを知る。 ・ 小数の意味, 構成, 表し方, 整数の意味を知る。	・ 整数で表せない端数部分の大きさの表し方を考えようとしている。	・ 1L に満たない端数部分の大きさの表し方を考えている。		・ 小数の意味, 構成, 表し方, 整数の意味を理解している。
			②長さを小数で表すことをとおして, 小数の構成と表し方について理解を深める。	・ 3 cm 7 mm を 3.7 cm と表すように, 複名数で表された長さを小数を用いて単名数で表すしかたを考える。		・ 複名数で表された長さを, 小数を用いて単名数で表すしかたを考えている。	・ 長さなどの量を, 1/10 の位までの小数を用いて表すことができる。	
			③十進位取り記数法の小数への拡張 (1/10 の位), 「小数点」の用語, 小数の相対的な大きさや 10 倍, 1/10 にした大きさについて理解する。	・ 小数を数直線上に表したり, 0.1 をもとにして数を相対的に見たりすることをとおして, 小数の見方を深める。 ・ 小数の位取り (1/10 の位, 小数第一位), 小数点の意味を知る。 ・ 0.1, 1, 10, 100 の関係を調べ, 10 倍, 1/10 の関係になっていることを知る。		・ 小数のしくみについて, 十進位取り記数法の考えをもとに考えている。		・ 小数のしくみや小数の位取り (1/10 の位, 小数第一位), 小数点の意味を理解している。 ・ 0.1, 1, 10, 100 が, 10 倍, 1/10 の関係になっていることを理解している。
			④小数と整数の大小比較について理解する。	・ 数の構成や相対的な大きさ, 数直線での位置に着目して, 2.8 と 3 の大小比較のしかたを考える。		・ 小数と整数の大小比較のしかたを考えている。		・ 小数と整数の大小を理解している。
			⑤小数と分数の大小比較について理解する。 [小数さがし] ・ 身のまわりから小数で表されているものを探す。	・ 小数や分数の意味, 数直線での位置に着目して, 0.6 と 7/10 の大小比較のしかたを考える。	・ 身のまわりから, 小数で表されているものを見つけようとしている。	・ 小数と分数の大小比較のしかたを考えている。		・ 小数と分数の大小を理解している。
5	68 ～ 72	小数のたし算, ひき算	⑥繰り上がりのない小数の加法計算を理解し, 筆算ができる。	・ 2.5+1.3 のような, 繰り上がりのない小数の加法計算のしかたを考え, 筆算のしかたをまとめる。	・ 小数の加法計算のしかたを考えようとしている。	・ 小数の加法計算のしかたを, 既習の計算をもとに図や式などを用いて考えている。(繰り上がりのない場合)		・ 1/10 の位までの小数の加法計算のしかたを理解している。(繰り上がりのない場合)
			⑦⑧繰り上がりのある小数の加法計算ができる。答えが整数になる場合と, 整数と小数の加法計算ができる。	・ 2.6+1.7 のような, 整数部分へ繰り上がる加法計算のしかたを考える。 ・ 1.4+2.6 のような, 答えの小数部分が 0 になる加法計算や, 35+4.8 のような, 整数+小数の加法計算のしかたを考える。		・ 小数の加法計算のしかたを考えている。(繰り上がりのある場合, 答えの小数部分が 0 になる場合, 整数+小数の場合)		・ 1/10 の位までの小数の加法計算のしかたを理解している。(繰り上がりのある場合, 答えの小数部分が 0 になる場合, 整数+小数の場合)
			⑨繰り下がりのない小数の減法計算を理解し, 筆算ができる。	・ 2.5-1.3 のような, 繰り下がりのない小数の減法計算のしかたを考え, 筆算のしかたをまとめる。	・ 小数の減法計算のしかたを考えようとしている。	・ 小数の減法計算のしかたを考えている。(繰り下がりのない場合)		・ 1/10 の位までの小数の減法計算のしかたを理解している。(繰り下がりのない場合)
			⑩繰り下がりのある小数の減法計算, 整数と小数の減法計算ができる。	・ 3.2-1.8 のような, 整数部分から繰り下がる減法計算のしかたを考える。 ・ 3-0.6 のような, 整数-小数の減法計算のしかたを考える。		・ 小数の減法計算のしかたを考えている。(繰り下がりのある場合, 整数-小数の場合)		・ 1/10 の位までの小数の減法計算のしかたを理解している。(繰り下がりのある場合, 整数-小数の場合)
1	73 ～ 74	まとめ	⑪基本的な学習内容の理解を確認し, 定着を図る。	・ 単元のまとめをする。		・ 「小数」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・ 1/10 の位までの小数を表すことができる。 ・ 1/10 の位までの小数の加減計算ができる。	・ 1/10 の位までの小数の意味, 構成, 表し方を理解している。 ・ 1/10 の位までの小数の加減計算のしかたを理解している。

	ねらい	学習活動	評価規準			
			関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
☆ ひもを使って絵をかこう (1時間) p. 75	○円や直角などについての理解を深める。	・ひもを使って円や直角をかく方法を考え、校庭にいろいろな絵をかく。	・大きな図形をかく体験を進んでしようとしている。 【行】【発】	・図形の定義や性質をもとに、大きな円や直角などをかく方法を考えている。 【行】【発】【ノ】		

□ 学習をふり返ろう⑤ p. 76	○「小数」「かけ算の筆算(1)」の復習をする。
----------------------	-------------------------

	目 標	評価規準			
		関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
15 かけ算の筆算(2) (10時間)	○2・3位数×2位数の乗法計算のしかたを理解する。 A(3)ア ○2・3位数×2位数の乗法計算が確実にでき、適切に用いることができる。A(3)イ	・2位数や3位数に2位数をかける乗法計算のしかたを考えたり、計算を活用したりすることの楽しさやよさに気づいている。 【行】【発】	・2位数や3位数に2位数をかける乗法計算のしかたを、既習の計算をもとに図や式などを用いて考えている。 【発】【ノ】 支援: 2位数×1位数などの既習事項をもとに個別指導する。	・2位数や3位数に2位数をかける乗法計算が確実にできる。 【ノ】【テ】	・2位数や3位数に2位数をかける乗法の筆算のしかたについて理解している。 【発】【ノ】【テ】

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
8	77 ～ 84	(何十をかける計算)	① 1位数×何十の乗法計算を理解する。	・4×30のような、何×何十の乗法計算のしかたを考える。		・何×何十の乗法計算のしかたを、既習の計算をもとに図や式などを用いて考えている。		・何×何十の乗法計算のしかたを理解している。
			② 2位数×何十の計算ができる。	・12×30のような、何十何×何十の乗法計算や、40×30のような、何十×何十の乗法計算のしかたを考える。		・何十何×何十、何十×何十の乗法計算のしかたを考えている。		・何十何×何十、何十×何十の乗法計算のしかたを理解している。
		(2けた×2けたの計算)	③④ 2位数×2位数=3位数の乗法計算を理解し、筆算ができる。	・12×23のような、2位数×2位数の乗法計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。	・2位数×2位数の乗法計算のしかたを考えようとしている。	・2位数×2位数の乗法計算のしかたを、既習の計算をもとに図や式などを用いて考えている。		・2位数×2位数の乗法計算のしかたや、2位数をかける乗法の筆算形式を理解している。
			⑤ 2位数×2位数で、部分積が3桁になる乗法計算ができる。	・39×75のような、部分積が3桁になる乗法計算のしかたを考える。		・部分積が3桁になる乗法計算のしかたを考えている。		・部分積が3桁になる乗法計算のしかたを理解している。
			(計算のくふう)	⑥ 乗法の筆算の工夫のしかたを理解する。	・28×30を、通常の計算のしかたと、省略するしかたで計算をして比べる。 ・40×36と36×40の計算のしかたを比べる。		・乗数の一の位に0がある乗法計算で、筆算の工夫のしかたを考えている。	
		(3けた×2けたの計算)		⑦ 3位数×2位数=4位数の乗法計算ができる。	・218×34のような、3位数×2位数の乗法計算のしかたを考える。	・3位数×2位数の乗法計算のしかたを考えようとしている。	・3位数×2位数の乗法計算のしかたを考えている。	・3位数×2位数の乗法計算のしかたを理解している。
				⑧ 3位数×2位数=5位数の乗法計算ができる。	・576×38のような、答えが5位数になる乗法計算のしかたを考える。 ・304×52のような、十の位に空位のある乗法計算のしかたを考える。		・答えが5位数になる乗法計算のしかたを考えている。	・答えが5位数になる乗法計算のしかたを理解している。
1	85	学んだことを使おう	⑨身のまわりの事象を数理的に捉え、乗法の学習などを活用して問題を解決することができる。	・校舎の高さを、階段の1段の高さと段数から乗法を適用して求める。	・乗法を活用する楽しさやよさに気づいている。	・階段の1段の高さと段数から、校舎の高さの求め方を考えている。		

1	86 7 87	まとめ	⑩基本的な学習内容の理解を確認し、定着を図る。	・単元のまとめをする。		・「かけ算の筆算(2)」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・2位数や3位数に2位数をかける乗法計算が確実にできる。	・何×何十の乗法計算のしかたを理解している。 ・2位数をかける乗法の筆算のしかたを理解している。
---	---------------	-----	-------------------------	-------------	--	---------------------------------	------------------------------	---

		目 標		評 価 規 準			
16	□を使った式と図 (5時間)	○未知の数量を□として表し、数量の関係を式に表すことができる。D(2)イ ○未知の数量を□として表した式の□にあてはまる数を求めることができる。D(2)イ ○加法と減法、乗法と除法の相互関係を理解する。D(2)ア		関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
				・未知の数量を□などの記号を用いて表すことのよさに気づいている。 【行】【発】	・□を用いた式について、□にあてはまる数の求め方を考えている。 【発】【ノ】 支援:□にいろいろな数をあてはめて求めたり、図などを手がかりにして考えたりするようにする。	・未知の数量を□として式に表したり、□にあてはまる数を求めたりすることができる。 【ノ】【テ】 支援:言葉の式などを用いて、買い物の場面を文脈どおりに□を用いて立式させる。	・未知の数量を□とすることにより、数量の関係を式で表せることを理解している。また、加法と減法、乗法と除法の相互関係を理解している。 【発】【ノ】【テ】

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
4	88 7 93		①加法や減法の場面において、未知の数量を□として式に表し、□にあてはまる数を求めることができる。	・買い物の場面で言葉の式をもとに未知の数量を□として減法の式に表し、□にあてはまる数の求め方を考える。	・未知の数量を□として式に表し、□にあてはまる数を求めようとしている。	・図や式をもとに、□にあてはまる数の求め方を考えている。	・加法や減法の場面において、□を使って式に表し、□にあてはまる数を求めることができる。	・未知の数量を□とすることにより、数量の関係を式で表せることを理解している。
			②□にあてはまる数を求めることをとおして、加法と減法の相互関係を理解する。	・加法や減法の場面を□を使った式に表し、図をもとに□にあてはまる数を求める。		・□にあてはまる数の求め方をおして、加法と減法の相互関係について考えている。		・加法と減法の相互関係を理解している。
			③乗法や除法の場面において、未知の数量を□として式に表し、□にあてはまる数を求めることができる。	・あめの代金を考える場面で、言葉の式をもとに未知の数量を□として乗法の式に表し、□にあてはまる数の求め方を考える。	・未知の数量を□として式に表し、□にあてはまる数を求めようとしている。	・図や式をもとに、□にあてはまる数の求め方を考えている。	・乗法や除法の場面において、□を使って式に表し、□にあてはまる数を求めることができる。	
			④□にあてはまる数を求めることをとおして、乗法と除法の相互関係を理解する。	・乗法や除法の場面を□を使った式に表し、図をもとに□にあてはまる数を求める。		・□にあてはまる数の求め方をおして、乗法と除法の相互関係について考えている。		・乗法と除法の相互関係を理解している。
1	94	まとめ	⑤基本的な学習内容の理解を確認し、定着を図る。	・単元のまとめをする。		・「□を使った式と図」の学習のよさや考え方を振り返っている。		・未知の数量を□とすることにより、数量の関係を式で表せることを理解している。 ・加法と減法、乗法と除法の相互関係を理解している。

		目 標		評 価 規 準				
17	そろばん (3時間)	○そろばんのしくみとそろばんによる数の表し方を知る。A(7)ア ○そろばんによる簡単な加法、減法の計算のしかたを知る。A(7)イ		関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解	
				・そろばんに関心をもち、そろばんを用いて数を表したり計算したりしようとしている。 【行】【発】	・そろばんによる加法、減法の計算のしかたを考えている。 【発】 支援:筆算やブロックの動かし方と対応させながら考えられるようにする。	・そろばんを用いて数を表したり、簡単な加法、減法の計算をしたりすることができる。 【行】	・そろばんによる数の表し方について理解している。 ・そろばんによる簡単な加法、減法の計算のしかたについて理解している。 【行】【発】	
時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
3	95 7 98	(数の表し方)	①そろばんの各部の名称、しくみ、数の表し方について理解する。	・そろばんのしくみと、数の入れ方、はらい方を知る。 ・十進位取り記数法による数の表し方と、そろばんでの数の表し方を対比して考察する。	・そろばんのしくみに関心をもっている。		・そろばんを用いて、数を表すことができる。	・そろばんのしくみと、数の入れ方、はらい方を理解している。

	(そろばんの計算)	②そろばんを用いた簡単な加減計算を理解する。	・基本的な加法, 減法の珠の動かし方を知る。 ・ $31+58$, $89-58$, $4+3$, $7-3$, $4+7$, $11-7$ のような, 簡単な加減計算のしかたを知る。		・そろばんによる加法, 減法の計算のしかたを考えている。	・そろばんを用いた簡単な加減計算ができる。	・そろばんを用いた簡単な加減計算のしかたを理解している。
		③そろばんを用いた何万や小数の加減計算を理解する。 [いろいろなそろばん] ・昔のそろばんを見て, そろばんへの関心を高める。	・ $3万+5万$, $10万-2万$ のような, 何万の加減計算, $2.3+0.6$, $1.1-0.8$ のような, 簡単な小数の加減計算のしかたを知る。	・そろばんを用いて数を表したり計算したりしようとしている。			・そろばんを用いた何万や小数の加減計算のしかたを理解している。

		目 標		評 価 規 準				
○ 算数を使って考えよう (3時間)		○日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え, 表現することができる。 ○算数で学習したことを生活や学習に活用することができる。		関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解	
				・生活や学習にかかわる問題について, 既習事項を活用して問題を解決しようとしている。 【行】【発】	・算数の学習を活用して数理的な処理を工夫したり, 筋道を立てて考えたり表現したりしている。 【発】【ノ】 支援: 問題の条件からわかることや求めることを整理して考えられるようにする。また, 解決にはどんな既習事項を用いるのか見通しをもたせるようにする。			
時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
3	99 〜 102	(本だな)	①②③生活や学習にかかわる問題について, 既習の知識・技能等を活用し, 課題解決のための構想を立て, 筋道を立てて考えたり, 数学的に表現したりすることができる。	・部屋の図をもとに, ドアが開くときに動く範囲を考え, ぶつからずに置くことができる本棚の大きさを考え, 説明する。	・既習事項を活用して問題を解決しようとしている。	・算数の学習を活用して数理的な処理を工夫したり, 筋道を立てて考えたり表現したりしている。		
		(時間割表)		・時間割表の寸法について, 条件に着目しながら考え, 説明する。				
		(重さ調べ)		・調べたものの重さを表した棒グラフを見て, 重さの問題を解決する。				

		ねらい	学習活動	評 価 規 準			
□ 3年のまとめ (4時間) p. 103~106		○3学年の学習内容のまとめをする。	・数と計算, はかり方, 図形, 表とグラフ, 式についての問題を解決する。	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
						・3学年で学習した内容の問題を解決することができる。	・3学年の学習内容を理解している。

※「学習をふり返ろう」などは, 学校行事などを勘案して, 予備時間を使って時間配当してください。